まちのトピックス

11/13～11/14 北海道大空高校農業研修

▲農業研修でさまざまな体験をする大空高校の生徒たち

友好町の北海道大空町から大空高校の2年生22人が来町し、農業研修が行われました。

1日目は、肥後物産㈱(八代市千丁町)を訪問し、い草の栽培方法や畳表の品質・見分け方のほか、国産畳表の需要低迷や産地が抱える課題や対策などの説明を聞いた後、畳表の保管倉庫や梱包・出荷所の見学と作業体験が行われました。

午後からは町内でい草を生産する上本修久(のぶひさ)さん(西網道)と前橋勝(まさる)さん(新田)に受け入れてもらい、畳表の製造工程の説明を受けた後、い草の選別や織機でい草を織るなど貴重な体験に感動していました。

最後に立神峡公園で、火打石体験や北海道には無い孟宗竹を使ったコップ作りを楽しみながら自然環境の違いを実感していました。

2日目は、氷川町柑橘部会青年部の協力のもと、北川地区にある晩白柚圃(ほ)場で袋外し作業を体験しました。高校生たちは、初めて見る世界最大級の柑橘にとても驚いていました。2日間の農業研修を通して、北海道との違いを感じながら貴重な経験ができたようです。

11/23 「農業高生の甲子園」で八代農業高校が最優秀賞

「農業高生の甲子園」ともいわれる、第72回日本学校農業クラブ全国大会に八代農業高校が出場し、平板測量競技会において測量技術のスピードと正確性が評価され、見事最優秀賞に輝きました。

同校の農業工学科で構成されたチームには、氷川中出身で1年生の村川翔(かける)さん(桜ヶ丘)も参加しており、来年以降の活躍が期待されています。

また、他部門においても3人が優秀賞に輝くなど、八農生が大活躍の大会となりました。

▲栄冠を勝ち取った八代農業高校の生徒

11/30 元旦ビューティ工業㈱が企業版ふるさと納税を活用して寄附

元旦ビューティ工業㈱(神奈川県藤沢市)が、「氷川町の地方創生の取り組みに役立てていただきたい」と、企業版ふるさと納税制度を活用して本町へ50万円を寄附されました。いただいた寄附は、本町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地方創生の事業に活用させていただきます。

企業版ふるさと納税とは?

企業が、寄付を通じて自治体が行う地方創生事業を応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられる制度です。

◀詳しくはこちら

11/15～11/18 第16回氷川町熊日旗ソフトボール大会

▲優勝した竜西チーム

熊日旗を懸けて、町内の6チームが白熱した試合を繰り広げました。

決勝に進出したのは、会長旗と同じく役場チームと竜西チーム。

試合は序盤から竜西チームの打線が爆発するなど大きくリードし、最終回に役場チームも1点を返しましたが届かず、11対2で竜西チームが勝利し、初優勝を飾りました。

11/7 氷川町婦人会カローリング大会

▲注目の一投!

氷川町婦人会カローリング大会が開催され、各支部より10チームが参加し、60人の会員が交流を深めました。

各チームは順番や作戦を練って試合に臨み、ジェットローラーを握る手にも力が入り、楽しいゲームが展開されました。

試合結果　優勝　今支部　準優勝 法道寺支部
　　3位　高野道　支部・新村支部

11/24・11/26 ふれあい大学が開講

▲白熱したゲームとなった「モルック」

令和3年度氷川町ふれあい大学開講式が行われました。今年度はコロナ対策のため2会場に分けての開催となり、予定された6月から延期しての開講となりました。

高齢者の生きがいと豊かな社会生活を築くことを目的に、計5回の講座が予定されています。

この日はマイナンバーカードについての学習講座と、ニュースポーツ「モルック」が行われました。

11/23 子ども会がSDGsを学ぶ

▲未来のためにできることを考えよう

桜っ子クラブSDGs研修会に、小中学生20人が参加しました。

研修会ではSDGs(持続可能な開発目標)の入門編として、世界で起こっている問題や日本の素晴らしいところを話し合い、SDGsの17の目標が身近なことにつながっていることを学びました。

研修会後には、ニュースポーツ「モルック」を行い、白熱したゲームを楽しみました。